

学院創立者 大野誠先生ご逝去

国際学院新聞

特別号

(編集発行)

学校法人国際学院

〒330-8548

さいたま市大宮区吉敷町2-5

TEL 048(641)7468

FAX 048(641)7432

インターネットホームページアドレス

https://www.kgef.ac.jp/

各界からのお言葉………2面
大野誠先生の思い出と追悼、
写真で振り返る故大野誠先生………3面
大野誠先生の功績と学院の歩み
卒業生からの声………4面

故大野誠先生 追悼

連続無窮の訓え



学校法人国際学院
理事長 大野博之

朝の空気は凜としていて、白息とともに霜の花が美しい季節です。国際学院の創立者である大野誠先生が永眠されたのは令和4年7月6日でありました。空

は高く麦茶が美味しい季節でした。初代で国際学院を立ち上げ牽引してきた学院長は「情熱の人」であり「責任の塊」でした。その一生は、唯一無二の人生であり、生きていく人の記憶に刻まれている限り、その人生が消えることは無いと考えます。先生が遺された訓えの一端を記し、追悼といたしたいと思います。

学院長は、学院を創立して以来、「誠実・研鑽・慈愛・信頼・和睦」の建学の精神のもと、一貫して「入



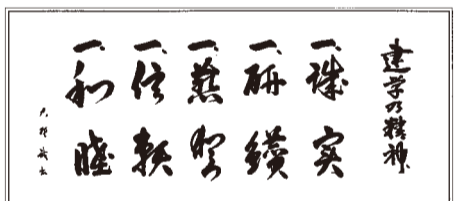
学院長・名誉学長・教授・医学博士・常任理事 大野 誠



旭日中綬章 勲章と勲記

旭日中綬章 勲章と勲記
に美しい花を咲かせるからです。人生において、厳しい試練を耐え抜き、自身の能力を開花させ、世の中で大切な役割を果たしているか、それがこの願いがここに込められているに込められています。改めて、生前賜りました、皆様の御厚情に対し、厚くお礼申し上げます。

協する事はありませんでした。仕事が一段落すると様々な振り返りをして、本来あるべきカタチを熟考しました。「今日の講義はこれでお終い」といって、後は和やかな雰囲気とともに人と人との絆が深まってきました。



「建学の精神」 大野誠 直筆

故大野誠先生の略歴

昭和7年2月16日生まれ

昭和29年3月 日本大学農獣医学部卒業

昭和29年5月 獣医師登録

昭和58年3月 医学博士

昭和29年11月 埼玉県熊谷保健所入職、大宮・川口保健所を経て昭和38年9月退職

昭和38年9月 国際学院を創立、公認大宮国際料理学院開校

昭和41年4月 公認富士服装学院を設立

昭和43年10月 国際クッキングスクールを設立

昭和44年5月 公認大宮国際料理学院を国際栄養学院に改称

昭和46年12月 学校法人国際学院設立認可

理事長就任(平成30年3月まで)

昭和48年2月 大宮保育専門学校を設立

昭和51年4月 国際栄養学院を国際調理師専門学校に改称

昭和52年3月 国際栄養士専門学校を設立

昭和58年1月 国際学院埼玉短期大学設置認可

昭和58年4月 大宮保育専門学校、国際栄養士専門学校を改組し、国際学院埼玉短期大学開学

昭和63年3月 国際学院伊奈高等専修学校を設立

平成3年4月 学校法人国際学院学院長就任

平成10年4月 国際学院伊奈高等専修学校を改組、国際学院高等学校開校

平成14年11月 社会福祉法人誠心会理事長就任

平成25年4月 国際学院中学校開校

令和3年3月 さいたま褒章・叙勲の会長

令和4年7月6日 永眠(享年90歳)

審議会等の委員や関係団体役員

〔埼玉県関連〕

埼玉県社会福祉審議会委員(昭和51年8月から平成14年8月まで)

埼玉県私立学校審議会委員(昭和60年4月から平成元年3月まで)

〔さいたま市関連〕

さいたま市民大学(旧大宮市民大学)運営委員会副委員長

(平成7年5月から平成21年10月まで)

〔私学団体関連〕

財団法人私学研修福祉会在校研修等審査委員長(平成15年4月から平成19年3月まで)

〔日本私立短期大学協会関連〕

埼玉県私立短期大学協会会長(平成元年7月から平成20年4月まで)

関東私立短期大学協会会長(平成15年4月から平成20年4月まで)

日本私立短期大学協会保育科研究委員会委員長(平成4年4月から平成12年3月まで)

日本私立短期大学協会副会長(平成15年10月から平成20年3月まで)

日本私立短期大学協会「本協会在り方検討特別委員会」委員長(平成18年4月から平成20年3月まで)

日本私立短期大学協会「教育関係学科に関する検討特別委員会」委員長(平成18年4月から平成20年3月まで)

〔財団法人短期大学基準協会関連〕

財団法人短期大学基準協会理事(平成12年5月から平成21年3月まで)

財団法人短期大学基準協会自己点検・相互評価推進検討委員会委員(平成14年6月から平成20年3月まで)

〔全国調理師養成施設協会関連〕

公益社団法人全国調理師養成施設協会会長(平成8年6月から平成11年6月まで)

社団法人全国調理師養成施設協会名誉役員(参与)(平成15年6月から平成24年6月まで)

〔専修学校各種学校関連〕

社団法人埼玉県専修学校各種学校教育振興会副会長(平成元年5月から平成3年3月まで)

〔スポーツ振興関連〕

社団法人日本ライフル射撃協会名誉副会長(平成元年9月から平成23年3月まで)

賞罰

昭和57年11月 埼玉県知事表彰

昭和60年7月 専修学校教育功労者表彰(文部大臣表彰)

平成元年3月 厚生大臣表彰

平成8年11月 藍綬褒章受章

平成11年9月 フランス文部省ENSEIGNEMENT TECHNIQUE(教育功労賞)受賞

平成19年11月 旭日中綬章受章

平成22年10月 短期大学教育功労者表彰(文部科学大臣表彰)

著書

『敦照のこころ』(1995年)、『子供に大切なことは、「食卓」で学ばせたい』(2007年)、『夢は限りなく』(2013年)、『親の仕事は子の躰』(2014年)

写真で振り返る 故大野誠先生

「人づくり教育」に尽力した

故大野誠先生から教育の本質を学ぶ

埼玉新聞社 土澤貴弘

大野誠先生、謹んでご冥福をお祈り申し上げますと共に、先生との思い出を書かせていただき、追悼とさせていただきます。

大野先生との出会いは約15年前、私が学校法人国際学院の担当者となり、取材等で先生と話しをさせていた。機会が多くなり、たゞ、実は大野先生の存在は私の妻が国際学院埼玉短期大学の幼児保育学科の卒業生ということもあり、出会う前から先生の教育方針は



平成7年3月
土屋義彦埼玉県知事が公務視察のため高等専修学校に来校



平成26年7月
上田清司埼玉県知事が公務視察のため短期大学に来学



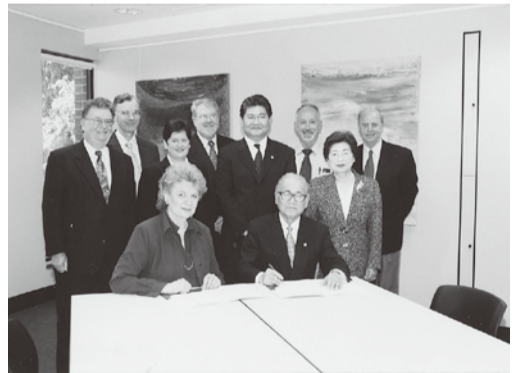
学院創立40周年を迎え「笑顔の写真をお願いします」に答える大野誠先生（理事長室で撮影）



学院創立50周年を記念して清水勇人さいたま市長と対談



旭日中綬章を受章した大野誠先生
奥様の大野敦子先生と
（平成19年11月）



〈上段〉オーストラリアのシドニー大学と教育提携（平成15年6月）
〈中段〉オーストラリアのマッコリー大学と教育提携（平成15年6月）
〈下段〉カナダのバンクーバーアイランド大学（旧名:マラスピナ大学）と教育提携（平成18年10月）



学院創立者 大野誠先生 胸像
（大宮キャンパス本館玄関ロビー）

今までの一番辛かったと育に全身全霊を注いでおっしゃっていました。その後の幼稚園・保育園教諭資格および都内の公務員試験合格が、同学院での2年間の成果を物語っていると思えます。

先生は栃木県大田原市出身で、私も栃木県出身とあって、理事長室で「同郷のよしみだから」と色々な話をしてくれました。先生はよく「三つ子の魂百まで。性格は変わらない」とおっしゃっていました。それは県の保健所勤務のときに上司や同僚の態度を見て痛感したようです。それをきっかけに「人づくり教育」や家庭での躾にあたる「食

いたことを覚えていきます。先生は常々「叱る」と「躾」は全然違う。躾はその漢字の通り、自身を美しく正すことだから」とおっしゃっていました。「礼を尽くし、場を清め、時を守る」という教育理念の下、数人の生徒の間違った態度も正す先生の言葉は躾そのものだったと思います。

学院の建学の精神である「誠実・研鑽・慈愛・信頼・和睦」という言葉は、どれも人生を豊かに生きるための大切で奥の深い言葉です。人は1人では生きられず、社会に出ればルールの中で責任感を持ち、自己研鑽をしながらトライ&エラーを繰り返して、反省しながら、またチャレンジして信頼を得る。学生のころからの言葉の意味を叩き込まれ実行できる同学院の生徒は幸せだと思えます。

先生とは今年5月に行われた「さいたま褒章・叙勲の会」総会で久々に元気なお姿をお見かけしていただきに急逝の報には大変驚きました。ご縁があったからお世話になりました。お世話になりました。お世話になりました。

先生のご功績に深甚なる敬意を表し、心からご冥福をお祈りする次第です。ありがとうございました。



大野 誠 先生 旭日中綬章受章記念祝賀会
旭日中綬章受章記念祝賀会（パレスホテル大宮）平成20年2月
祝賀会で記念撮影をする大野誠先生（中央）
写真右は学母 大野敦子先生
左は祝賀会発起人代表の小川休衛 弁護士（国際学院役員）



平成31年3月
学母 大野敦子先生の
胸像除幕式で挨拶をする
大野誠先生



伊奈キャンパスの講堂兼体育館
（MAKOTO HALL）のトランス本締め



高等専修学校実習園で梨の
初もぎ

国際学院創立者 大野誠先生の 功績と学院の歩み



90年の人生を全うし、国際学院の発展「一人づつ教育」と私学振興に捧げた学院創立者故大野誠先生の歩みを振り返ります。

「各種学校の学院長として、同学院及び富士服装学院の学院長に就任、同学院の教育を通じ、女子教育の普及と発展に寄与した。」

昭和29年3月、日本大学獣医学部を卒業後、同年11月、埼玉県職員として奉職した。戦後復興期から高度経済成長期を迎え、いち早く女子教育の必要性を痛感した大野誠先生は、8年余奉職した埼玉県職員を退職後、数々の困難を克服し、同38年9月、埼玉県大宮市に大宮国際学院の設置に尽力、設置者として地域の教育に対する需要に応えることも同学院の基盤整備に努めた。同41年4

「学校法人国際学院を設立し、理事長として短期大学、高等学校、中学校等を設置」

昭和46年12月、学院の公教育に果たすべき役割を一層高めるため、学院の永続性と安定性を図るべく私財を投じ、学校法人国際学院を設立、理事長に就任、学校経営の一層の充実に努めた。

地域の職業教育の充実に對する一層の要望に応えるべく、同48年2月に設置し



国際学院中学校高等学校

「国際交流・国際理解教育と地域連携に取り組み」

平成11年4月にはフランスの国立グルノーブル調理技術専門学校、同15年6月にはオーストラリアの国立マククローリー大学、並びに州立マククローリー大学、同17年10月にはカナダのアーチビショップカトリック中等学校、さらに同18年10月にはカナダの州立マラズピナ大学、現在のバンクーバーアイランド大学の各校と教育提携を結び、我が国の国際交流の推進に貢献する

とともに、学生生徒の国際理解教育に寄与した。そして、中等教育におけるユネスコ憲章教育を実現すべく、同22年に埼玉県内の高等学校として初めて、国際学院高等学校のユネスコスクール加盟認定を果たした。引き続き、同30年12月、学校法人として国連グローバル・コンパクト(U

た大宮保育専門学校、同52年3月に設置した国際栄養士専門学校を、永年、培われた伝統を生かし、学校教育を通じて蓄積した国際学院教育をより高度に、かつ広く地域の青年層に門戸を開くべく改組転換し、同58年1月、国際学院埼玉短期大学を設置、同短期大学長に就任した。



国際学院埼玉短期大学

「外部団体等における指導的立場で貢献」

学院内での地味な人づくり教育の実践と積極的な経営指導を中心としながら、引き続き、同30年12月、学校法人として国連グローバル・コンパクト(U

このように大野誠先生は90年の人生を全うし、国際学院の発展「一人づつ教育」と私学の振興に大きな足跡を残された。先生が創立した国際学院は来年60周年の節目を迎える。大野誠先生の思いは、まだまだ道半ばであったに違いない。しかしながら座右の銘として、また人生哲学として掲げた「誠実」「研鑽」「慈愛」「信頼」「和睦」の五の精神は、国際学院の調剤は愛情であることを教えてくださった。専業主婦となった今も、大野誠先生にお声かけていただ

「卒業してから31年が経ちました。今なお、クラスメイトと毎日LINEでやり取りをし日々刺激をもらっています。幼稚園を結婚退職し、子育て中は保育職から離れていましたが49歳になつて一念発起し保育園に勤め3年が過ぎました。復職できたのも短大時代の教員と友のおかけだと思っています。卒業式に学長へ花束贈呈をさせていただきました。ことばに詰まる私の肩をたたき「頑張れなさい」とその花束を私に授けてくださったことは今でも忘れられません。学長の大きな心と情熱を感じた瞬間でした。偶然にも働く園の副園長が同窓生であり、活躍される卒業生がたくさんいることに誇りを感じます。心よりご冥福をお祈りいたします。」

「卒業してから25年が経ちました。食物栄養士特講のノートだけは処分せず、現在でも通用内容を見ることがあります。学長先生の講義内容を見ると、現在でも通用内容が沢山あり、改めて自分の身の振り返りをする良い機会になりました。特に印象に残った内容は、建学の精神の5つの一つひとつに10項目の意味が込められているという部分でした。これから先も、建学の精神を継続して行動していきたいと思っております。学長先生の御冥福をお祈りいたします。」

「卒業してから31年が経ちました。今なお、クラスメイトと毎日LINEでやり取りをし日々刺激をもらっています。幼稚園を結婚退職し、子育て中は保育職から離れていましたが49歳になつて一念発起し保育園に勤め3年が過ぎました。復職できたのも短大時代の教員と友のおかけだと思っています。卒業式に学長へ花束贈呈をさせていただきました。ことばに詰まる私の肩をたたき「頑張れなさい」とその花束を私に授けてくださったことは今でも忘れられません。学長の大きな心と情熱を感じた瞬間でした。偶然にも働く園の副園長が同窓生であり、活躍される卒業生がたくさんいることに誇りを感じます。心よりご冥福をお祈りいたします。」

「卒業してから25年が経ちました。食物栄養士特講のノートだけは処分せず、現在でも通用内容を見ることがあります。学長先生の講義内容を見ると、現在でも通用内容が沢山あり、改めて自分の身の振り返りをする良い機会になりました。特に印象に残った内容は、建学の精神の5つの一つひとつに10項目の意味が込められているという部分でした。これから先も、建学の精神を継続して行動していきたいと思っております。学長先生の御冥福をお祈りいたします。」

「卒業してから25年が経ちました。食物栄養士特講のノートだけは処分せず、現在でも通用内容を見ることがあります。学長先生の講義内容を見ると、現在でも通用内容が沢山あり、改めて自分の身の振り返りをする良い機会になりました。特に印象に残った内容は、建学の精神の5つの一つひとつに10項目の意味が込められているという部分でした。これから先も、建学の精神を継続して行動していきたいと思っております。学長先生の御冥福をお祈りいたします。」

「卒業してから25年が経ちました。食物栄養士特講のノートだけは処分せず、現在でも通用内容を見ることがあります。学長先生の講義内容を見ると、現在でも通用内容が沢山あり、改めて自分の身の振り返りをする良い機会になりました。特に印象に残った内容は、建学の精神の5つの一つひとつに10項目の意味が込められているという部分でした。これから先も、建学の精神を継続して行動していきたいと思っております。学長先生の御冥福をお祈りいたします。」

「思い出し」の声が寄せられました。

卒業生からの声

◆今年から遡ること21年、その頃はコロナウイルスなんてものはなくのびのびと金と同じだけの価値があることを知り、時間を守ることの重要性を実感しました。大野誠先生に学ばせていただいたことを本当に感謝しています。

◆学生時代10分前行動はとんでもなく感じていました。社会人になり時間はお金と同じだけの価値があることを知り、時間を守ることの重要性を実感しました。大野誠先生に学ばせていただいたことを本当に感謝しています。

◆今年から遡ること21年、その頃はコロナウイルスなんてものはなくのびのびと金と同じだけの価値があることを知り、時間を守ることの重要性を実感しました。大野誠先生に学ばせていただいたことを本当に感謝しています。

◆今年から遡ること21年、その頃はコロナウイルスなんてものはなくのびのびと金と同じだけの価値があることを知り、時間を守ることの重要性を実感しました。大野誠先生に学ばせていただいたことを本当に感謝しています。

◆今年から遡ること21年、その頃はコロナウイルスなんてものはなくのびのびと金と同じだけの価値があることを知り、時間を守ることの重要性を実感しました。大野誠先生に学ばせていただいたことを本当に感謝しています。

◆今年から遡ること21年、その頃はコロナウイルスなんてものはなくのびのびと金と同じだけの価値があることを知り、時間を守ることの重要性を実感しました。大野誠先生に学ばせていただいたことを本当に感謝しています。

◆今年から遡ること21年、その頃はコロナウイルスなんてものはなくのびのびと金と同じだけの価値があることを知り、時間を守ることの重要性を実感しました。大野誠先生に学ばせていただいたことを本当に感謝しています。

◆今年から遡ること21年、その頃はコロナウイルスなんてものはなくのびのびと金と同じだけの価値があることを知り、時間を守ることの重要性を実感しました。大野誠先生に学ばせていただいたことを本当に感謝しています。

◆今年から遡ること21年、その頃はコロナウイルスなんてものはなくのびのびと金と同じだけの価値があることを知り、時間を守ることの重要性を実感しました。大野誠先生に学ばせていただいたことを本当に感謝しています。

◆今年から遡ること21年、その頃はコロナウイルスなんてものはなくのびのびと金と同じだけの価値があることを知り、時間を守ることの重要性を実感しました。大野誠先生に学ばせていただいたことを本当に感謝しています。

◆今年から遡ること21年、その頃はコロナウイルスなんてものはなくのびのびと金と同じだけの価値があることを知り、時間を守ることの重要性を実感しました。大野誠先生に学ばせていただいたことを本当に感謝しています。

◆今年から遡ること21年、その頃はコロナウイルスなんてものはなくのびのびと金と同じだけの価値があることを知り、時間を守ることの重要性を実感しました。大野誠先生に学ばせていただいたことを本当に感謝しています。

◆今年から遡ること21年、その頃はコロナウイルスなんてものはなくのびのびと金と同じだけの価値があることを知り、時間を守ることの重要性を実感しました。大野誠先生に学ばせていただいたことを本当に感謝しています。

◆今年から遡ること21年、その頃はコロナウイルスなんてものはなくのびのびと金と同じだけの価値があることを知り、時間を守ることの重要性を実感しました。大野誠先生に学ばせていただいたことを本当に感謝しています。

◆今年から遡ること21年、その頃はコロナウイルスなんてものはなくのびのびと金と同じだけの価値があることを知り、時間を守ることの重要性を実感しました。大野誠先生に学ばせていただいたことを本当に感謝しています。

◆今年から遡ること21年、その頃はコロナウイルスなんてものはなくのびのびと金と同じだけの価値があることを知り、時間を守ることの重要性を実感しました。大野誠先生に学ばせていただいたことを本当に感謝しています。

◆今年から遡ること21年、その頃はコロナウイルスなんてものはなくのびのびと金と同じだけの価値があることを知り、時間を守ることの重要性を実感しました。大野誠先生に学ばせていただいたことを本当に感謝しています。

◆今年から遡ること21年、その頃はコロナウイルスなんてものはなくのびのびと金と同じだけの価値があることを知り、時間を守ることの重要性を実感しました。大野誠先生に学ばせていただいたことを本当に感謝しています。

◆今年から遡ること21年、その頃はコロナウイルスなんてものはなくのびのびと金と同じだけの価値があることを知り、時間を守ることの重要性を実感しました。大野誠先生に学ばせていただいたことを本当に感謝しています。

◆今年から遡ること21年、その頃はコロナウイルスなんてものはなくのびのびと金と同じだけの価値があることを知り、時間を守ることの重要性を実感しました。大野誠先生に学ばせていただいたことを本当に感謝しています。

◆今年から遡ること21年、その頃はコロナウイルスなんてものはなくのびのびと金と同じだけの価値があることを知り、時間を守ることの重要性を実感しました。大野誠先生に学ばせていただいたことを本当に感謝しています。

◆今年から遡ること21年、その頃はコロナウイルスなんてものはなくのびのびと金と同じだけの価値があることを知り、時間を守ることの重要性を実感しました。大野誠先生に学ばせていただいたことを本当に感謝しています。

◆今年から遡ること21年、その頃はコロナウイルスなんてものはなくのびのびと金と同じだけの価値があることを知り、時間を守ることの重要性を実感しました。大野誠先生に学ばせていただいたことを本当に感謝しています。